

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年12月26日

協議会名:	旭川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km ² 、人口は2018年4月1日時点で338,558人である。人口は2000年より減少に転じ、それにもなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。